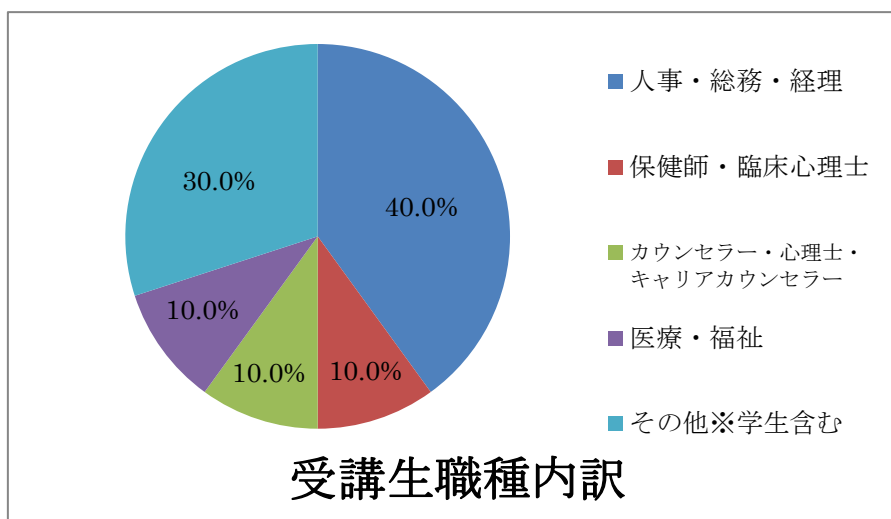
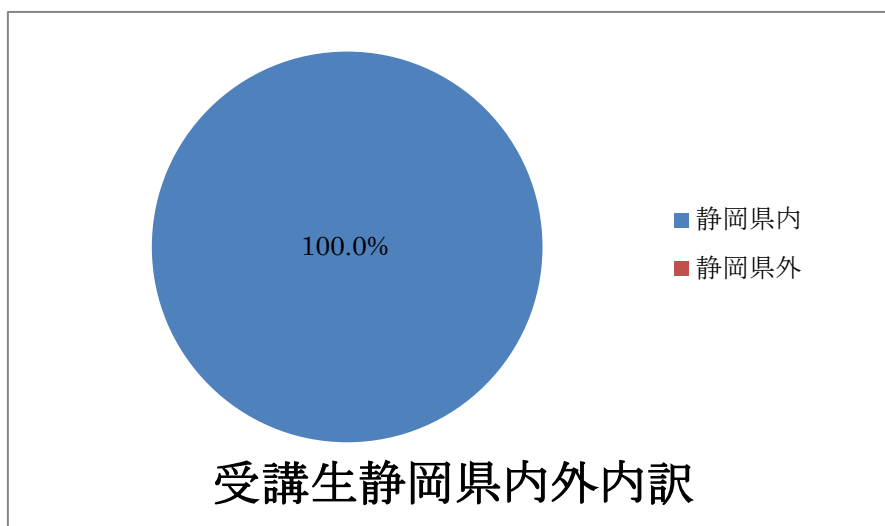


## 2016年度 EAPカウンセラー養成講座 受講者の声

- ◇EAPとは何か、特徴について分かりやすく、知る事が出来ました。  
仕事の生産性向上という目的からの支援ということが理解出来ました。  
EAPカウンセリングの現場からの話は、興味深くお聞きしました。
- ◇今まで「抑うつ状態」と「うつ病」とを混同して考えてしていました。「うつ病」の症状の出方や特徴が分かり理解が深まりました。「うつ病」の理解を深めて、適切に専門機関と連携が取れるよう学んでいきたいと思えます。
- ◇演習を通じて、一般的なカウンセリングとEAPカウンセリングの違いを学ぶことが出来ました。また、アセスメントの際に様々な知識が必要になることが分かりました。  
今日の講座を入口に、たくさん知識をつけていきたいと思えます。
- ◇普段聞けない話でしたので、労働契約等について、ざっと概観が聞いて良かったです。  
普段は何気なく、自分も仕事や残業を行っていますが、きちんと労働者側も、今日のようなことを聞いておくことが必要だと思えました。
- ◇フォロー面談の演習では、気付き、学びがあった。特に、アセスメントのポイントは理解出来ました。
- ◇発達障がいにも色々な形があるんだということもよく分かりました。  
小さなゴール設定をすることや、デメリットをメリットに見てとることなど、日常的な対人折衝にもとても役立ったり、自分自身にも役立つことだったなと感じます。ビデオを見たことでより理解が深まりました。
- ◇マネジメントコンサルテーションの流れがつかめました。ロールプレイの中で、課長役をやることで、自分のアプローチの傾向みたいなのも分かりましたが、他のグループの話聞いて、アプローチの仕方も参考になりました。上司(管理職)のコンサルテーションもEAPの大きな役割ということが理解出来たと思えます。
- ◇まず管理職という立場は、本当に大変だということを実感しました。また、EAPへ行くことを説得する上で、共感すること、向き合う姿勢、根拠を示すこと、EAPの利点を伝えることなど、様々な手段があることが分かりました。説得は難しいですが、同じような場面になったときに技術を磨いていきたいと思えました。
- ◇管理職のもつ状況、課題について理解でき、そういったことを理解した上で相談対応することが必要だと思えました。
- ◇業務ヒアリングというと、難しそうですが、「仕事は何か」を入口に聞いていくことで、「問題点は何か」という本質が見えたり、それ自体がカウンセリングや、治療的関わりになるのだなと思えました。また、日頃の同僚とのやり取りや家族にも活かせると思えます。

◇EAPというと、今の職場との関わりから、カウンセリングのイメージでしたが、個人への支援と組織への支援ということで、EAPの役割がよく理解出来ました。職種柄、個人へのカウンセリング(相談業務)という面での興味がありましたが、視野が広がったように思います。

### EAPカウンセラー養成講座参加者内訳



※人事・総務のお仕事に携わっている方に比較的多くご受講いただきました。

## EAPカウンセラー養成講座風景



## EAPカウンセラー養成講座レポート

日頃より、相談業務を行っている方や自己研鑽として心理を勉強しているといったEAPに興味がある方に比較的多く受講をいただきました。

「EAPという言葉は知っていたが、いったいどのような事を行っているのか。EAPの効果は、どのようなものなのか」等の疑問を、本講座を通じて、ご理解をいただきました。

EAP導入をご検討されている企業様は、是非とも本講座をご活用ください。

EAPカウンセラー養成講座事務局 担当：三輪